

I

5 10 15 20 25

1 1960年ごろから1990年ごろまで課徴金支払い免除と養豚業の集約化により豚肉の生産・輸出量と生きた豚の輸出頭数が増加した。GATTのウルグアイラウンド交渉において、アメリカ合衆国などの農産物輸出国が貿易の自由化を求めたため、EUは課徴金制度を見直した。

5 2 国内では、豚の飼養密度が高く排泄物の発生量が多いため、排泄物による河川水や地下水の汚染がみられたほか、農地への過剰な施肥による窒素の残留などの問題を生んだ。国外では、オランダからの安価な豚肉輸入により養豚業者の経営が圧迫されたほか、生きた子豚の輸入による豚コレラなどの感染が拡大する恐れが増した。

10 3 1990年代以降、排出物削減のために肥育経営から子取り経営にシフトして、豚肉の生産・輸出量が抑えられ、生きた豚の輸出頭数が増加した。また、飼育環境を改善し、家畜のストレス軽減により疾病を防ぐ取組みがなされ、安全性を付加価値とする経営に努めている。

15

II

5 10 15 20 25

- 5 1 都市化と自動車の増加に伴い交通事故が増加し，車道と分離する歩道の設置が進んだが，建物が道路に接近し
 2 拡幅が困難なため，狭い歩道に車の乗り上げや自転車の
 3 走行がみられ，隣接する敷地への車の出入りのため歩道
 4 に高低差が生じ，歩きにくい道路になっている。
- 10 2 運転手が見やすい巨大看板など歩行者軽視の世界。
 3 大陸横断鉄道の中継地で，近くにフーバーダムや核実
 験場が建設されることでホテルなどが立地し，合法化さ
 れたカジノが集中することで発展したが，砂漠地域で用
 15 水の確保やカジノ産業依存からの脱却が課題である。
- 4 金融，商業が発達したNは，早くから都心に超高層ビ
 ルが林立した。近年は再開発により住宅を兼ねたものも
 みられ人口密度が高く，大量輸送が可能な地下鉄の利用
 が多い。Wは政治の中心で高層ビルは政府機関など古く
 15 からの建物が多く，郊外には低層の住宅地があり，地下
 鉄の路線が少ないため移動には自動車を利用される。

III

5 10 15 20 25

1 ODAは政治的条件が付されることが多く、民間資金は投資利益が見込める分野に偏り、途上国の一部の権力者や富裕層の利益につながりやすい。外国からの送金は直接貧困層に届けられ、生活必需品などに支出されることで地域経済を下支えする。

5

2 若年労働力や技術者などの専門的技能を持つ人材が、より良い収入を求めて国外に流出することで、国内産業の発展が阻害される。一方、海外で技能を高めた人が帰国して起業したり、資金を蓄えた人が海外から送金や投資をしたりすると国内産業の発展に役立つ。

10

3 ベトナム ブラジルとベトナムは生産年齢人口が豊富で、自国の経済成長が不十分なため雇用を求めて来日する。ブラジル人は1990年の入管法改正で製造業での就業が許可されて増加したが、2000年代後半の世界金融危機の影響で失業し帰国する人が増えた。ベトナム人は、近年、留学や技能実習生で来日する人が増えた。

15